夕刊 磐城新聞
八月二日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告料 普通欄 金六拾錢 特別欄 金九拾錢（五號十二字詰一行） （場所指定一行壹圓增）
編輯印刷兼發行人 柏木 新 福島縣石城郡平町 平町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
發信受信電略（タイライワキ） 平局私書函第十二號 電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

俳人一草の死

山寺獨語（一）

島田忠夫

□

七月二十九日の夕刊（東朝）に『狂ふ血を清算』といふ見出しで、友人國島祐治君の自殺が報じてあつた。國島祐治君は、ホトトギス派の俳人であつて、僕とは震災前から知合つてゐる。大正十年頃から高濱虛子先生の許へ出入して『ホトトギス』に一草の名で俳句を發表してをつた

□

一草君は瑞西のバーゼル製藥會社の日本學術部員で藥學士であつた。平町へも春秋二回は必ず行かれ、いつか一度田町の木兎莊で會つた。恰度さつきの花頃で高久晩霞國手が病院の玄關に見事な、さつきを一鉢飾つて置かれた。これも俳人赤羽松堂翁の丹誠の鉢であつたらう

晩霞國手はユーモア心から、このさつきに金百圓也と立札をたてておかれた。それを一草君が見てなる程百圓もしますかねと言つて感心して見て行つた相である。それから高久晩霞國手の名を東京で一草君の口からきき、それでは平町で落合はふといふことになり、その年の秋高久病院で會ひ住吉屋旅館で二晩飲んだ一草君は住吉屋が定宿になつてゐた

□

一草君とはその後も偶然水戸で會つた。昨秋十月のことで僕は病妻が常盤病院に入院中、ぱつたり路上で會つた。君とは不思議に旅先で會ふネなどと言ひ合つて某料亭で飲み合ひ凡兆や丈草の話などをした。病妻にフイチン・チバといふ藥を呉れることを約され、それを山田靜榮博士に乞ふて配劑して貰ふことにした。大津の方へ病妻が行つてからは、市原陸郎國手の病院にフイチンを塗つて呉れ、同じく配劑して頂いた

□

この水戸で會つた時、一草君と飲み且つ談じてゐて僕は何か愕然とした。それは震災前年あたりの一草君の心が見えたからであつたといふのは、震災の前年あたり、彼は頭を痛めて久しく病臥してゐた。こんど自ら死を選んだのもそこに原因があつた。血——といふ事がしば〳〵口に出た。一草君は愛妻との間に子供がなかつた。それをむしろ心安らかだとも言つた。こゝに（東朝）の夕刊記事をひくと、少しはその間の消息が分るかも知れぬ。

故鄕

（歌集冬菜より） 太田水穗

○豆の葉の露に月あり野は霧の明るさにして盆唄ひこゑ
○ふるさとは門田の稻の出穗ざかり盆踊り子もさゞめきぬらし
○柿の葉の下闇くらしほとほと暮れても人の麥を搗きをり
○もろこしの葉にそよぎ立つ月夜風うまやの馬も嘶きぬべし
○もろこしの高穗のうへをゆく月の風曇りしてふけにけるかな
○宵口の村家の小路田もどりの人聲すぎてまた音もなし
○竹の葉の月夜の庭となりにけり障子をしめて聲もせぬ家
○山をいでて暫しを月のいざよへば世は靜かなる光なるなり

拈華微笑

斷然黑字の王。常磐山元送炭量前年より月三萬噸超過

◇

勝敗は兵家の常だ。磐中野球選手沛悲でやぶる弗れ

◇

心頭を滅却して彫刻美術鑑賞座談會。清風脉下に生ずる催し

◇

三原山の孫分位になりかけた一兩日來の新舞子

◇

あす大安をトして政友派の事務所開き

○……○

學藝消息

○羽黑三昧會 八月六日羽黑三昧會主催、天田愚庵和尚三十回忌法會に元代議士赤尾藤吉郎氏、東京電氣局庶務課長林忠美氏（平町出身醫師林芳太郎氏女婿）等列席

○清水谷恭順師 大正大學教授清水谷恭順氏は八月十一日大津町へ來講、市原陸郎氏の案内にて平潟町勿來關見學の筈

社會の今日

○今年また隣の槻に二番子の、すゞめの巣立ちて夏もふけたり 太田 水穗

遠雷や雨ともならぬ地のほてり 衣人

8月3日

△前九年の役（天喜四）△空中魚雷演習成功廢艦明石沈む（昭和五）△支那の兵匪討伐殺戮一萬と報せらる（同六）△海城營口等へ匪賊の襲來やまず（同七）

講談 劍火無情 (82)

津屋義人作 菅野祐作畫

黨中黨を樹つ（五）

田岡大助の大角和尚、すつかり先方の氣に入るやうな議論を吐いた。

一杯食つた物部豐後之助和尚が槍先を避けた早業と滔々盡きざる辯舌とに魅せられ、唯々敬服の外なく、

『何分共に秋岡丹三郎、時子兩人の行方、お任せ致すに依つて、內々のお知らせせを願ふ』

豐後之助のみでなく、一隊七十人皆和尚の前へ、目禮して賴み入つた。

『宜しい、賴まれたら越後から米搗きに來るといふ譬へもある。俺が一時經たぬ間に、お知らせして加之も血を見ず、兩人を難なく引縛る事にして進ぜやうから此驛に屯してマア酒でも飲んで待つてゐなされ。追附け吉報聞かせやう……さらばちや』

言ふより早く、網代笠と杖とを兩手に韋駄天走り、其身の輕さ宛に飛鳥の如く見る〳〵間に暗に姿を消え去つた。

『奇妙な和尚ではないか』

『猶且世の中は勤王々々といふが人氣が好いやうだがア〳〵した佐幕の篤志家もあつて、それでこそ德川將軍家は萬代不易ちや』

『然し血を見ずして、時子と秋岡を捕へさすといふは如何なる策略あつての事か！』

『イヤあの奇僧、やり兼まじき面魂、何か妙計奇策を巡らすものと見ゆる』

『好い者に會つて、此苦勢の夜を働かずに濟んで重疊』

『何うぢや其邊の宿屋を敲き起して、和尚の言ふ如く一杯やつては……』

『月も出たぞ、涼しさうな所はないか、柳蔭でも飲むかな』

合の驛ながらも、二三の大きな旅籠屋もある。七十人は一軒の宿を起して、

『吾々は水戶城內よりの巡邏隊である。一時許り休ませて呉りやれ』

宿では城主とか城內の者とかの一語には、一も二もなく恐縮して直ぐ表戶を開放し、火を起し、湯を沸かして歡迎する。心からの歡迎ではないが、恐怖からの優待。

『最早一時は過ぎたな』

『和尚、何を致して居るか』

一時半を經たと思ふ頃、ワッと喊聲を揚て、是も亦七八十人の一隊、石塚驛望んで走り來たつた。一同が見ると嚴めしい武裝の兵

『ヤア裏切り者の物部豐後之助、覺悟に及べ』

何やら口々に罵つて、刀槍揮つて宿の表に迫つた、何かは知らず、物部勢も之に應戰したが、忽ちの間に双方二十人程の負傷者を生じ、事態急と見て豐後之助篤と敵の一隊を見極めた上

『待たつしやい、各々方は筑波攻めの朝比奈勢ではないか、何の爲の同士討ちでござるか』

『默れ豐後之助、汝等七十人は市川勢を裏切つて、磯ケ濱の武田耕雲齋に通じ、吾々の背後を衝かんとする由、訴へに依て明白した、今ぞ天誅を加へる覺悟せよ？』

『コレ〳〵何を言はつしやる、吾々は耕雲齋の姿の時子、並に筑波山の間者秋岡丹三郎召捕に向つたものだ何人が裏切りしたと訴へたか』

『白々しい申譯すな。城下地藏院の住職が、唯今注進に參つた』

『ナニ住職、然らば年若い眉の太い、笠と杖を手にした僧侶か、あれは地藏院の住職ではない。地藏院なら和尚は何者』

『ギエーッ、そんならあの和尚は何者』

『素性は知らねど、天晴武術の心得もあり辯舌滔々と佐幕の意見を述べたる上、秋岡と時子の行方を探り、一時の後知らすとの事に、今まで此處に待つてをつたが、扨は其の樣な僞りの訴へをなしたか』

『チェー殘念、僞地藏院に欺かれたか。それに對しても何が爲、斯樣な企みをしたるか』

初めてそれと解ると、今まで生命をかけて斬合つたのが馬鹿らしく、寄手の荒木剛之進と豐後之助と顏を見合はせて苦笑しながら

『死者はないが、深手淺手の手負ひは、殘念ながら双方に二十三人とござる』

兩人がいやな顏をして立つてゐる中に、寄手の一[illegible]兵が進み出て言つた。

『筑波山の麓に出沒して、吾々の動靜を探る怪僧、大角和尚と自稱する者がござりますが、若しやそれではござるまいか』

春子さんに

甘南備三十二

二

西と東から集まつた運命の子寄りが與へられた生をより以上充實せしめ樣として相逢つて造つた美しい純眞な學生生活……私はそれへの愛着と執着をどうしても忘れることが出來ないので今又その中へ飛込まふと考へてゐるのである。私は情緒純熟な若人達に依つて青年學徒を讃美せずには居られない、そして其幸福をしみ〴〵と味はふものである。涯しない人生を漂泊ふ人の子と人の子との愛それがやるせない人生の悲哀から生れてくるものであつても私は其力強い事を認めそしてそれを祝福せずには居られないのである。私は宿命的な人間の醜い闘爭に……そして運命づけられた人の子の悲哀に……泣いた事も曾てはあつた。人間の醜さを露骨に見せつけられてそして自己の生れたことすらも呪つた事もあつた。求めざるに生れそして生るれば直ぐに人の子の解けぬ謎を押付けられて苦しむ。其の矛盾を怨み、神をさへも呪つたのであつた。然し其嘆や呪咀が明かであればある程私の僞はらざる生活から遠ざかつて行つた。私の本當の人生、それは限りあるものであつても決して怨嗟や呪咀ではないのである。私は人間の表面的な自己の純情を僞る、そしてそれをなさしむる社會の束縛、それから逃れることのどきない間は本當の人生を見出す事ができない事を知つた。僅か二日二晩の仙臺の生活とは云へ大きな衝動と體驗とはたしかに打てば響く緊張味を自分に感じることが出來た。靜かな幽玄な大自然と美しい人の子の純情に觸れて、そしてそれが涙に濡れた時に本當の自己を見出すことができた。此の點特に山崎夫妻に感謝するものである。そしてそれを知り、それを味ふことに依つて無限の愛を知り、無限のよろこびを感じた。それが自己の本當の人生であることをも初めて知つた私は何日も最上の智慧も宗敎も哲學も亦藝術も自己を僞らない純情から生れることを信じて居る。自己を僞らない純情、それは人を僞らない心なのである。人の子は僞らない純な心と心の結合、それに依つて限りない幸福を呼びそれに依つて淚の出る樣な樂しい美しい世界を見出すことができるのである。

冷却力が永久におとろへず
いつまでも使へる冷藏器
冷藏器は一夏や二夏で構造に狂ひが來て冷え方が弱る樣では眞の文化的重寶と言ふ事が出來ません其點で木材を最も嚴撰しそれを完全なる設備の下に數年間十二分に乾燥して使用する、丸ほん冷藏器は絶對に狂ひを生ぜず永久によく冷る經濟的な冷藏器として御愛用の皆樣の間に古くから多大の御信用を博して居ります。
㊍ 平町三丁目
丸ほん冷藏器 電話三五九
岩谷冷藏器の代理店も致して居ります。

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先ニ（松崎ニ）
三九二タクシーへ
（デンワ、ミクニ）

愈々舊盆も近づきました。
御新佛の戒名入提灯を御注文下さい。
提灯

角形	經六、〇デシメートル	一對房付十五圓
	五、三同	同九圓五十錢
	四、五同	同六圓八十錢
	四、二同	同五圓五十錢
	三、七同	同四圓八十錢
	三、四同	同三圓二十錢
瓜形	經四、六同	同三圓五十錢
	四、三同	同二圓五十錢
	三、六同	同二圓

尚御好みにより値も品も色々に調製致します。御話下されば早速見本持參御伺致します。
平町四丁目 スガノヤ提灯店 電話九五番

平・四倉間 乘合自動車往復劵發賣
暑中御見舞の奉仕トシテ…
八月二日ヨリ往復劵金四十錢ニテ發賣致シ升
御乘車ノ場合ハ組合ノマークアル自動車ヲ御利用下サイ。
平 平町四丁目 四倉 乘合々同組合 電話九四五

外科全般 內科 小兒科
醫學博士 渡部義夫
女醫 渡部きい
平町田町大通り（電話二七七）
渡部外科（入院應需）

●あらゆるお好みの……柄合とお値頃……豊富に取揃へました●
パラソルは中野洋品店
◙おつとめ品……パナマ帽子九十八錢◙
●平 電二五三番●

暑中御伺
平驛前 甲陽館 武田コウ 電一四八番

夜間診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門
松村胃腸病皮膚科醫院（平町南町電一〇七番）

吸入用酸素
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
◎秤の取り緒・糸垂の修繕致シマス
關內藥局 電話四〇番

難波醫院
內科 小兒科 醫學博士 難波睦
平町新川端櫻堤 電五〇二
（…入院隨時…）
看護婦募集

新製品發賣!!!
ジャバ モカ グアテマラ
コーヒー通待望のコーヒー來る……!
本場コーヒー三種配合挽立
1/4封カン入三五錢 1/2封カン入七十錢 味覺滿點
香味本位の本場銘茶を召上りませ……
電三九六番 大勝園

加速度的に增し行く 常磐各山元發送炭量
前年よりは月三萬噸超過

地方景氣の最大源泉たる炭况は近來加速度を以て其の需要を增大し差當り底止する處を知らざる狀態に在る、卽ち永い間赤字の一途を辿つてゐた丈け最初は一旬二三千噸一日平均二三百噸位の增加すら時節柄之れを一種の驚異的事實として特筆報道したものであつたが其れが順次漸增の歩調を亂さず去月二十一日以降三十一日迄の十一日間に於ける成績は營業用省用を通じ實に一萬二千三百十四噸、卽ち每日千二三百噸を增送した事になつてゐる、而して最近に於ける送炭最高記錄と見るべき去月中を通算すると

營業用一〇、二一七車一一八、六七八噸　省用三、四九〇車四九、九一四噸　合計一三、七〇七車一六八、五九二噸

で前年同期より二千四百四十二車二萬九千二百五十六噸激增の飛躍的數字を示してゐる

神宮出場權獲得
磐中水泳部の花形 志賀澁谷の二君

去る三十日のオールヂャパン水上競技東北豫選で優勝した磐中志賀貞介君は百、二百の平泳、澁谷春夫君は四百千五百米の自由型に今秋明治神宮で開かれる全日本水上選手權大會出場權を獲得した

兩選手に鄕友の支援
大會出場費醵金

尙ほ兩君は來る六日の關東北北海道中等學校水泳大會に出場すべく仙臺二高プールに於て法政マネーヂャ針生三郎氏指導の下に猛練習を續けて居るが兩君の好成績に仙臺市の石城鄕友會有志は來る廿七日仙臺讀賣プールで開かれるウォーターマン倶樂部主催の關東北北海道中等學校水泳大會にも出場せしむべく經費を醵金中である

磐中軍不振
柔道を除き
昨一日の大會成績

縣下男子中等學校体育大會は昨一日陸上競技は相中、武道は安達中で夫々開催されたが戰績左の如く磐中柔道で四位を得た外劍道に競技に香しくない番狂はせの得點をしめした

（陸上競技）三段跳6吉田康吉（磐）　百メ2齋藤三男（商）　二百米2兪成令宣（磐）　四百米6津田力之助（商）　八百米4三部幹夫（商）　順位—平商10（九點）　磐中12（六點）

柔道順位—磐中4（二十點）　平商14（八點）　個人優勝一番選手—阿部文平（磐）　三番選手—白井晃（同）

劍道順位—磐中15（十九點）　平商17（十六、五點）

政友派供託
明日事務所開設

政友派では赤坂候補の爲今二日供託手續をなし明二日より平町二丁目へ事務所を開設する事となつた

置若歡談悅として 一日の暑熱を忘る
赤堀信平氏を中心に 彫刻藝術鑑賞座談會

平町の美術同好家赤堀信平氏の滯平を機とし諸橋、山崎、坂本、酒井、高久、長瀨、山部の諸氏は今二日午後二時より縣社子鍬倉神社々務所に於て同氏持參の近作數點を中心に『彫刻藝術鑑賞座談會』を開催、置若歡談夫々壺中の天地を娯んで一日の暑熱を忘れたと

北鮮會寧通信　三
（伊東一）

◇一寸した支那の女、愛くるしい二十才計りの女が豆ランプを點けて太い煙管でジーデーと最初小さな紙包に包んだ黑いものを二本のほそい毛糸編みたいなものでランプの尖で炙り炙りのばし、やわめて其煙管へつめ込みランプの下にかざしてスパ〱吸ふのだ、大低二服位で恍惚となつてしまうそうだ

◇一服四十錢　とか、ついでに其女も一しよに床上で自由になるとか一斤一兩位のものでしよう、密淫賣なので亭主持ちで、亭主は亭主で他の阿片窟で女房の取つた金　遊んで暮らして居るそうだ、滿洲でも近頃阿片を煙草の樣に專賣せしめるとかで安東も僅か四五軒の豫定の所へ貳百五六十軒の申込みがあるそう

◇勿論それに　は密諭のうまい汁があると云ふ事だ女郎屋の事は內地のマア南町の樣に變つたこぎたない所と思へばよい、相手が支那人だ、たゞ習慣として一人の初買のお客があると一服の茶を呑んで居る中に多勢の女共が手にめい〱西瓜の種をつかんで伜の者にも少しつゝ手から手へくれて行く

◇中には西瓜　種が少くてくれる處か出してる手の上から持つて行くのもある西瓜種の食べ方で通人かどうかが解るそうだ

◇町の造りも　家の造り方もあらうが、そうじて騒〱しいそこへ行くと妓さん（朝鮮藝者）はやつぱり日本式にしとやかだ、ざつと見て歩いた滿鮮依て如件（七月二四日）

磐中力戰 盛岡に敗る
今日の准決勝

昨大會第一日目の決戰に四Ａ對一の快スコアーで昨年の優勝校遠野を屠つた磐中軍は友軍福中と轡をならべてけふの准決勝戰に臨み午前九時半から盛中グラウンドに强豪盛中と對したが力闘空しく左記スコアーで終に敗れた

盛　120　00220A
磐　020　00020 0
4—7A

營林署野球
愈々來日曜

中通り對濱通り營林署對抗野球は旣報の如く六日磐炭高坂グラウンドに於て行はれるが中通りチームの宿舍は四倉柏屋、濱通りチームは湯本松柏館に決定、應援團一行は同日午前九時七分綴着列車で試合場へ參集する筈で盛況を豫想されてゐる

本社主催 太田水穗氏講演會
愈々來六日に迫る
歌稿は至急本社宛送附の事

吾人が平常崇敬私淑しつつある我邦歌壇の耆宿太田水穗氏夫妻の當地通過と云ふ絕好の機會を捉ゐ本社が特に請ふて計劃した講演會は從來之種の大家を迎へた事が無かつた土地丈けに各方面から多大の待望を集めてゐるに當日の盛況を豫想するゝ難からぬものがある同氏が現今歌壇の大御所として雜誌潮音を主宰し一面主婦の友、キング、短歌研究等々の選者たる外偉大なる芭蕉研究家として之の方面に印しつゝある足跡の如何に大なるものあるかは更めて呶々する迄も無く隨つて之の講演會を契機として敎ゐらるゝ處蓋し少からざるものあるは勿論である、大方の紳士淑女諸君は奮つて參會之の機會をより良く收穫せられ度い、尙ほ講演會後引き續き催さるる短歌會の出詠歌（題。窓、潮、通じて二種）は取り纏め上急を要するに付早速本社宛御送稿を望む

俵廿七錢の暴落
地方米先安見越さる

平農業倉庫昨一日の米穀共同販賣は出荷平倉庫八十五俵、釜屋六十俵、計百四十五俵で平農倉分は七圓九十九錢、釜屋分は七圓九十一錢で落札したが前回より實に二十七錢の暴落で益々先安を見越されて居る

三株道路 完成運動

出人村南大平地內勿來驛東白川郡間三株線道路は同方部の林產物搬出の重要路線であるが屈曲甚しく非常な難澁を來して居るが旣に支線は營林署の林道開鑿事業として完成したので工費四千圓の本年度匡救事業として着工する事となり潰地買收及設計を完成し近く着工する段取りとなつた處此程突如縣から中止を命ぜられたので地元では狼狽し昨一日勿來町赤津町長は平土木監督所に出頭旣定方針に依る施工方を陳情した外更に期成同盟會を組織し飽迄初志を貫徹する事となつた

。。。。少年團員避暑。。。。　內郷村濱井場炭礦從業員の子弟よりなる少年團員五十餘名は六日午後二時から小名濱海岸に於て海濱學校と水泳練習を行ふことになつた

投槍
投書歡迎

。。。。。白木英尾氏へ。。。。。

御意見拜見した、早速次にお答へしやう。

1貴殿の御批評果して是なりや、自己を信ずる事は必要だが自己以上に己惚る事、卽ち自己トウスイはやめたら如何

2貴殿は『?』の使用法を御存じないのか、物事は總て貴殿の樣に固くなつては話が出來ぬ、すべからくいくらかのユーモアがあつてしかるべきだ。まあ『?』の持つ魔力を良く研究する事だね

3文法の先生たる貴殿には少なからず參つた、たしかに小生の文章は迂つてゐた、あの場合の彼等は勿論小佛某、浦島某の外貴殿、高木愛二氏など外に二三投稿者を含む、右訂正します

4貴殿の云ふ迄もなく、小生目下着々準備中、その時こそはよろしく御後援下さる樣今から御願ひして置きます

5覆面の儀は小生前項主催の時發表する事にしてそれ迄はあへて覆面です、惡からず。（熱血冷眼）

虛弱兒保養
昨日から赤沼で

縣主催の平三小學校虛弱兒六十餘名の体育施設は昨一日午前九時から新舞子赤沼海岸に於て第二津田校長開所の辭、聚落開所に就いての縣衞生山野技師の挨拶あり朝はラヂオ体操、日中は海水浴に舟遊びにと一週間を送る事になつた

四倉築港勞働者が 日給三割增陳情
炎天下の作業難が理由

四倉築港勞働者八十餘名は代表者を擧げ昨一日午後二時炎天下の勞働困難を理由に現在給一日六十五錢に對する三割の値上方を事務所長に陳情したが當局に於ても夫々豫算の關係もあり如何なる態度に出るか成り行きを刮目されてゐる

暑熱の連續に 氷の値だん亂調子
當業者間の協定崩る

連日の暑熱に氷の大拂底を來し岩手、仙臺、山形方面から移入し辛じて供給して居る始末で平製氷會社では昨一日から一貫匁十六錢を昨年より四錢高の十八錢に値上し、尙値上げする模樣なるに反し小名濱、江名、豊間の漁業組合へは貫當り僅か三錢で販賣して居るので氷屋は製氷會社の不公平な態度を非難し曩に會社間に協定された販賣統制も完全に破れ露骨な自由競爭を演ずるに至つた

清涼飲料消費增加
之にも暑熱は映る

去月中の平稅務署管內清涼飲料水製造元の賣上げはラムネ十八石サイダー三十一石で昨年同期より六石十二石の激增である

本社主催 太田水穗氏講演會

八月六日午後零時半より藤田女學校にて（聽講無料）

終つて短歌會（三日迄本社宛課題『潮』『窓』通じて二首送稿の事。會費金拾錢）

磐城新聞社

波立行臨時列車
明後四日運轉

平驛では明後四日の波立藥師宵祭當日平午後六時三十一分發列車を久之濱午後七時着に延長臨時運轉するが尙來月二日から盆に入つての盆踊り見物人のためにも臨時列車を運轉するため目下計劃中

假死の狀態で 渚に橫たはる美人
片倉女工の投身自殺未遂
原因は失戀？

一日午前十時頃新舞子海岸に假死の狀態となつて打ち上げられた妙齡の美人あるを通行人が發見折良く廻り合はせた巡回診療班がカンフル五筒を注射した結果幸に蘇生したが右は平町片倉製糸工場女工新潟縣刈羽郡鯖石村小清水農彥治長女金子みよし（二三）で前日午後六時半頃外出した儘戾らぬ爲搜索中のものと判明した、所持の手帳には太田某に對する五年越しの戀愛關係が細々と記されあり、どうやら失戀の結果らしい、目下工場所屬病室で靜養中

蟬捕り中足を辷らし 三間の樹上から墜落
尋三の男兒重傷を負ふ

平町十五丁目ハナ長男平第一尋三年生高橋卓（一〇）君は一昨卅一日午後三時頃警察署脇櫻樹に登り蟬取り中誤つて三間餘の高所より轉落し右腕に複雜骨折兩足に打撲傷を負ひ目下上田病院に入院療養中だが切斷手術を行ふやも知れぬ重傷であると

上平窪の山林に 職人風の縊死体
身許不明で假埋葬

平窪村上平窪横山農金成庄助氏は昨一日午後一時頃自宅附近富岡山林地內で男の縊死体を發見平署に屆出たので圓通部長檢視したが着衣は木綿黑縞單衣に黑人絹の帶を締めた推定年齡三十歲位一見職人風の男で懷中に現金十四圓九十四錢入の蟇口を所持して居るだけで他に遺留品なく死後十日以上を經過したらしく全身腐爛して容貌崩れ何れのものとも判明せぬので一先づ村役場で假埋葬に附した

餘罪が續出
五犯男泥を吐く

內郷村小島詐欺竊盜前科五犯宮原信次（四九）は御膳塗換え詐欺に關し平署で取調の結果昨年十一月十八日好間村上好間吳服商森榮太郞が平町で遺失した洋服オーバー、二重廻し入れ風呂敷包一個價格三十五圓を拾得橫領した外福島、茨城、北海道各地に亘つて三十三件の詐欺、竊盜をなした事を自白し引續き取調を受けて居る

。。。。營林署へ註文殺到。。。。　平營林署では目下ローリング床板電柱腕木等の買入註文が中央遞信省や電氣會社等から殺到し需要に應じ切れぬ有樣で目下材料の整理中である

。。。。木炭同業改善。。。。　濱三郡木炭同業組合では各縣下の進出に倣ひ需要調節、價格の協定、取引改善のため生產者聯盟の組織に準じ中間商人の暴利を壓迫し生產側の利益增進について新對策を講づべく計劃中であると

。。。。連帶運輸停止。。。。　鐵道では納金の關係から一日限り泉驛から小名濱軌道との連帶運輸停止した

。。。。倉田學士出版。。。。　磐城炭礦技師倉田龜之助氏は曩に歐米視察中各方面の研究資料を取纏め發刊することになり目下資料を蒐集調査中である

。。。。小名濱校水泳講習。。。。　小名濱小學校水泳研究部では明三日より一週間同築港西海岸で水泳講習會を開く

。。。。捕賊賞與。。。。　平署特高係警部補渡邊公、同巡査大賀政吉、佐藤勝虎の三氏は今二日知事から金一封の捕賊賞與を受けた

。。。。共濟事業助成。。。。　平町共濟事業助成會では昨一日附で縣社會事業協會から助成金四十圓を交附された

。。。。鈴木訓導水泳免許。。。。　勿來校訓導鈴木得彌氏は今般日本水上聯盟から水泳指導員の免許證を受けた

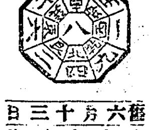
平區半期の略式百五件

平區に於ける去る一月以降去月迄の略式命令は百五件、金額四千九百八十五圓で最も多いは傷害、竊盜、賭博、業務上過失傷害で金額は選擧違反の百五十圓が首位であると

。。故買。。　平町長橋町古物商佐川朝壽（四四）に係る贓物故買の公判は昨一日午後一時から平區に於て開口判事係り三堀檢事關與で開廷懲役六ケ月、罰金五十圓を求刑言渡しは明三日午前十時

。。控訴。。　贓物故買で此程懲役六ケ月、罰金五十圓を言渡された平町長橋町野木三郎は昨一日不服で控訴を申出た

。。拘留。。　平町白銀町一食肉商深谷伊三郎（三七）は昨一日午前二時頃三丁目常磐銀行前で泥醉の上通行人に暴行を働き取鎭めの平署員に抵抗檢束され拘留三日に處せられた



舊六月十三日　木曜　辛丑　大安　破　斗宿　新八月三日

諸判定總帶　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神宮館

▲一白の人　飼犬に手をかまるゝが如し世話亊は控へよ▲二黑の人　勞を厭はず萬事を勵め働きかひのある吉日▲三碧の人　分外の大望を抱きて失敗を招かんとする日▲四綠の人　目上に頼りて便宜を計り目的を達成する日▲五黃の人　急功を欲するは好ましからず漸進すれば吉▲六白の人　失敗の後に氷け再擧を謀る時は回復すべし▲七赤の人　進行を止めず飽く迄成功に勉めらるれば吉▲八白の人　內輪に事無き樣和合を主とすれば吉と成る▲九紫の人　幸運一家に惡まる日但し金錢は避くべし

新盆用戒名入提灯
技術本意安値自慢……!!
大小共何卒御註文の程御願致ます。
金子提灯店　平町才槌小路

土用二の丑（八月三日）
大蒲燒　うな丼
南町　松本樓　電話百十三番
多少に不拘御用命の程を御願致ます

相變らず御願致します土用二の丑（八月三日）の牛肉賣出し。
値段左の通り
並肉　金二十錢……ロース　金五十錢
上肉　金三十錢……ヒレ　金六十錢
三二三や　電話三三三